

大塚金之助 おおくま きんすけ 經濟學者、歌人。明治二十五年五月十五日東京生まれ、昭和五十一年五月九日歿（二八九—一九七）。筆名白井光、遠見一郎等。大正五年東京高等商業學校専攻部卒。昭和二年東京商科大学教授、八年檢舉、失職と、二十年復職。二十五年日本學士院會員。一方、歌誌『マリアスギ』、『まのらゐり』、『短歌評論』の歌文も發表。『大塚金之助著作集』全十卷（昭和五十五年五月二十一日—五十六年十一月二十五日岩波書店）刊。

譯著書 『國際消費組合運動・一九二二年』（玉成隆共譯・城由消費組合編、昭和七年五月十五日日本無産者消費組合聯盟・教育部、叢文閣發賣）、『日本資本主義發達史講座』全七卷（共編、昭和七年五月二十一日—八年八月二十一日岩波書店）、『解脫思想史の入门』（昭和二十四年四月十日岩波書店「岩波新書」）、『若き日の讀書』（合著・瀧沼茂樹編著、昭和二十八年四月十五日河出書房「河出新書」）、『學究生活の思ひ出』（合著、昭和二十九年六月一日寶文館）、『社會思想』（編、昭和二十一年十一月十日岩波書店「岩波小辭典」）、『あの社会科学者の遍歴（民主ドイツの旅）』（昭和四十四年五月二十一日岩波書店）、『敬慕の人民』（伊澤信半解説、昭和五十四年五月二十一日新評論）等。